

# 2024 年度(第14 期) 事業計画書

特定非営利活動法人アスイク



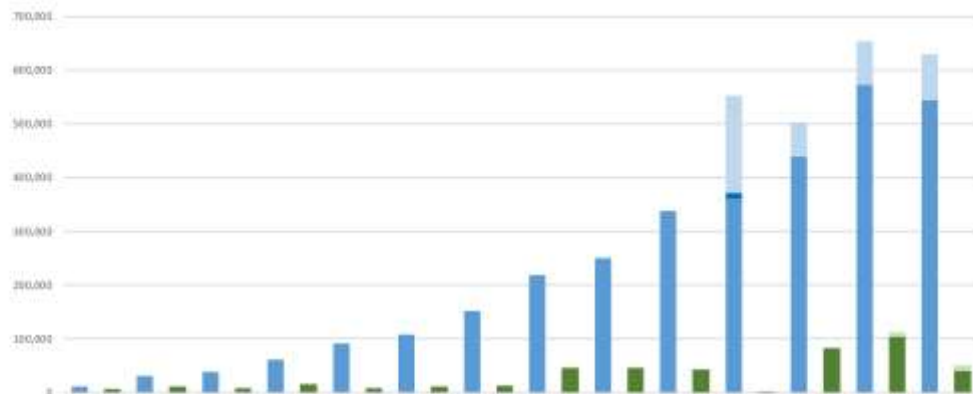
## トピックス・予算

---

■ 今年度の主なトピック

- ・ 県南圏域子ども若者総合相談センターの開設
  - 宮城県と協働し、県南圏域に子ども・若者育成支援推進法に基づく子ども若者総合相談センターを開設。
  - 上記センターの開設及びひきこもり支援事業の利用者増加に対応するため、南部事務所を拡充。
  
- ・ 子どもの学習生活支援事業サブコーディネーター等の5%賃上げ
  - 最低賃金の上昇や物価高への対応として、2013年度以来はじめて子どもの学習生活支援事業に従事するサブコーディネーターの時給を5%アップ。
  
- ・ 保育事業部のバリュー策定
  - 各園の役職者が中心となったバリュー策定プロジェクトを立ち上げ。アサイク保育園独自のバリュー(価値観)を策定する。
  
- ・ アサイク自然体験施設の開設準備
  - 石巻市の牡鹿半島に当法人専有の自然体験施設を開設し、プログラムの進化や利用者にとっての利便性を図る。(2024年度は衛生設備、宿泊棟設置のための資金調達がメイン)
  
- ・ 社会的養育地域支援ネットワーク(しゃちネット)の設立への関与
  - 日本財団とも協働し、社会的養育を推進するための全国大会、政策提言、実務者支援等を担う中間支援組織を7月に設立予定。

■ 予算計画(概要) ※明日育福社会含む



	収入 2011	収入 2012	収入 2013	収入 2014	収入 2015	収入 2016	収入 2017	収入 2018	収入 2019	収入 2020	収入 2021	収入 2022	収入 2023	収入 2024
明日育福社会 (事業活動計画書)											182,342	2,707,642	2,189,821	1,857,902
アスイク (指定五種計画)											16,551	4,384	210	626
アスイク	11,261,826	11,454,214	11,491,796	11,700,601	12,246,247	13,911,725	15,691,523	17,296,602	19,556,556	23,783,017	29,732,963	33,129,436	37,340,153	39,641,290

■アスイク ■アスイク(指定五種計画) □明日育福社会(事業活動計画書)

## 当法人のミッション・ビジョン等

---

## Mission 私たちの役割

子ども・若者と社会をつなぎ、共助・公助を増やしつづける。

## Vision 目指す社会像

どんな困難にぶつかっても、自分の人生を好きになれる社会。

## Way 私たちの行動原則

- 対等なパートナーシップ**  
 市民、企業、行政などマルチステークホルダーとの協働を基盤とする。行政に対しては下請けではなく当事者のニーズを代弁する触媒となり、市民や企業に対しては社会課題への参画、気づきの場を提供する。
- 動きながら作りつづける**  
 社会の揺らぎの中から求められることに素早く取り組み、気づきや出会いを通して、必要とされるもの、それまで無かったものを生み出していく。
- 当事者たちから学ぶ**  
 当事者の視点から今起きていることを学ぶ。パターンリズムに陥らず、一人ひとりの視点から最善解を一緒に考えていく。

### 課題へのアプローチ

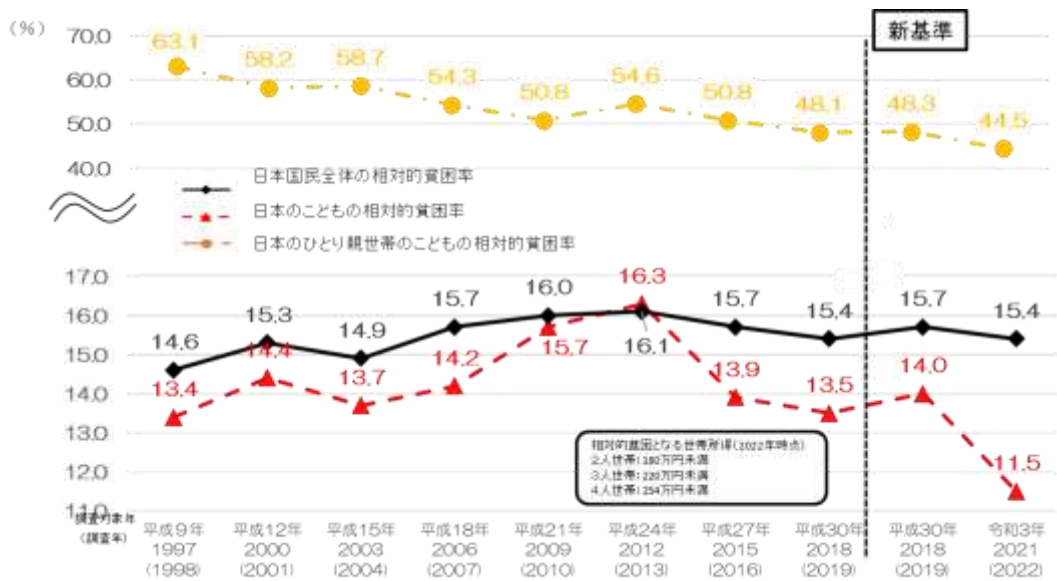
生きづらさを抱える子ども・家庭を、さまざまな事業(入口)を通して社会資源と結びつけ、教育的機会、福祉的機会を提供すると同時に、社会の当事者意識を醸成することで社会資源(公助・共助)を増やしていく。



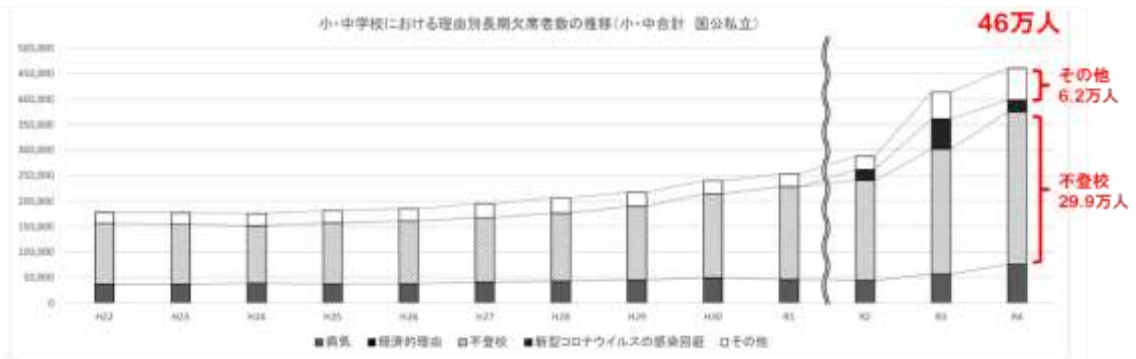
## こども・若者を取り巻く状況

---

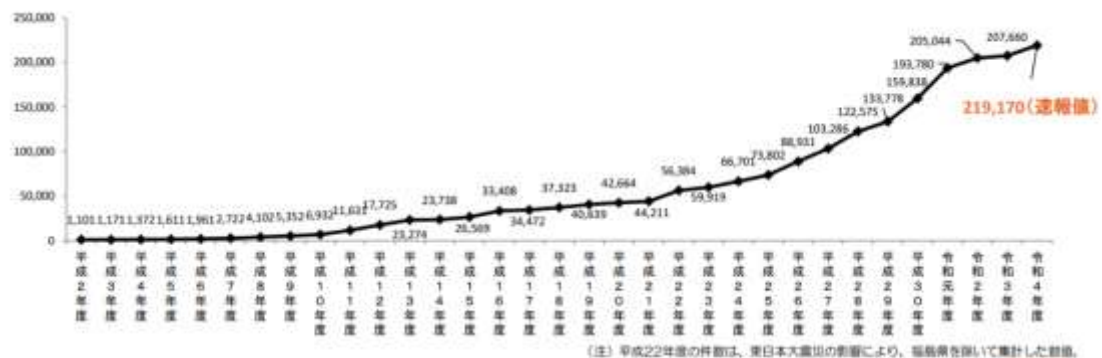
## ■ 子どもの貧困率



## ■ 不登校児童生徒数の推移



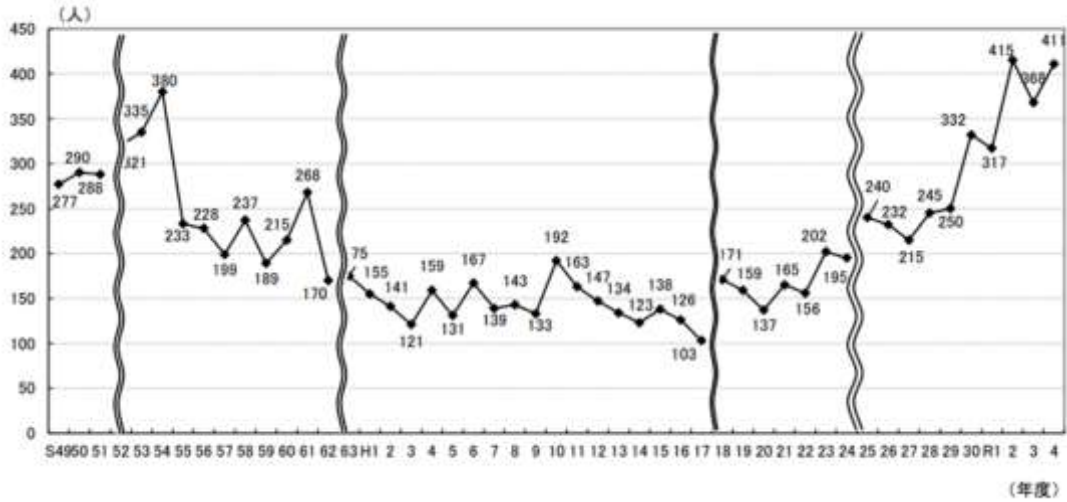
## ■ 児童虐待相談対応件数



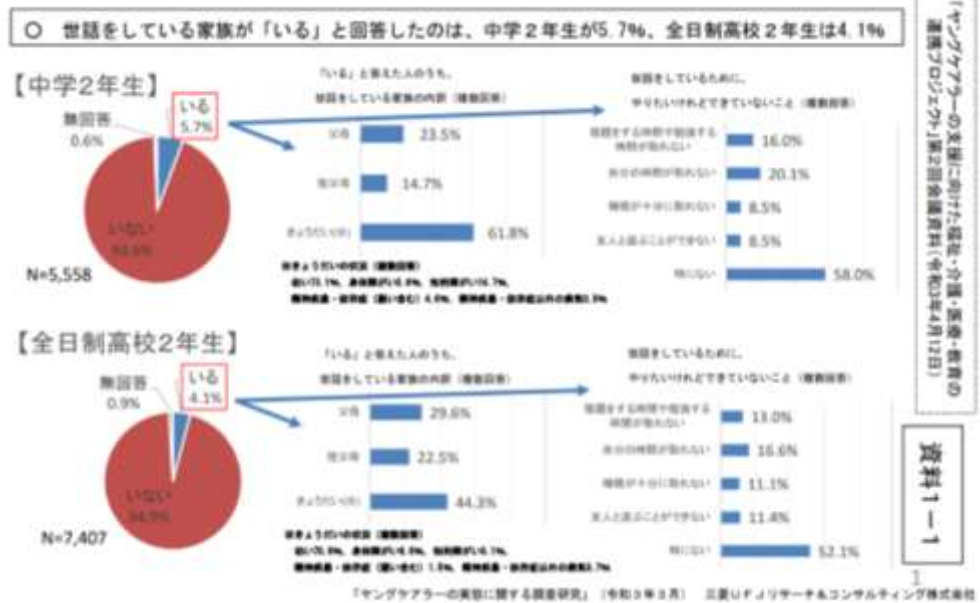
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (速報値)
件数	59,919	66,701	73,802	88,931	103,286	122,575	133,778	159,838	193,780	205,044	207,660	219,170
対前年度比	+6.3%	+11.3%	+10.6%	+20.5%	+16.1%	+18.7%	+9.1%	+19.5%	+21.2%	+5.8%	+1.3%	+5.5%



■ 児童生徒及び学生等の自殺者数の推移



■ ヤングケアラー



## 各事業の計画

---

事業インデックス (★:新規事業)

<特定非営利活動に係る事業>

1. 仙台市学習・生活サポート事業
2. 仙台市中途退学未然防止等事業
3. 宮城県子どもの学習・生活支援事業
4. 岩沼市子どもの学習・生活支援事業
5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業(ハッチいわぬま)
6. 岩沼市子ども第三の居場所事業(いわぬまきち)
7. 白石市子どもの学習・生活支援事業
8. 白石市子ども第三の居場所事業(しろいしきち)
9. 仙台市支援対象児童等見守り強化事業
10. 涌谷町支援対象児童等見守り強化事業(わくデリ)
11. フードバンクプラアス
12. 仙台市ふれあい広場サテライト
13. たがじょう子どもの心のケアハウス
14. 多賀城こども食堂
15. 仙台市ヤングケアラーピアサポート・オンラインサロン事業
16. 宮城県ヤングケアラー支援事業
17. 県南圏域子ども若者総合相談センター★
18. アスイク保育園宮城野通駅前
19. アスイク保育園薬師堂前
20. アスイク保育園中田町
21. 仙台市荒井児童館

<その他の事業>

22. 投資事業

事業名	1. 仙台市学習・生活サポート事業
事業目的	・ 子どもの貧困の連鎖の解消・権利擁護
事業内容	・ 学習支援、体験の機会づくり、相談支援 ・ 原則生活保護もしくは児童扶養手当全部支給の中学生
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標 ■ サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上
備考	

事業名: 仙台市学習・生活サポート事業

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	24ヶ所	
		参加者数	何人の対象者が登録したか	参加者リストへの記録	360人	
		リファ一件数	何人の対象者が関係機関からのリファーにより参加したか	参加者リストへの記録	36人	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	2300回	
	教室運営 (質的側面)	つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等でつながりを維持できている家庭の割合はどの程度か		記録表による集計	100%
		延参加者数	延べ何人の登録者が参加したか		記録表による集計	9200人
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか		参加者リストへの記録	25%
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか		参加者リストへの記録	2.5%
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか		ボランティアリストによる集計	300人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか		記録表による集計	6,000時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか		記録表による集計	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか		記録表による集計	6プログラム
プログラム参加人数		何人の子どもがプログラムに参加したか		記録表による集計	100人	
保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか		記録表による集計	800件	
	他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか		記録表による集計	178件	
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	参加者アンケート (肯定回答割合)	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか		英語:10点 数学:10点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか		70%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		70%	
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		70%	
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		70%	
		生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		70%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		70%	
		ロールモデル	ロールモデル		スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか	70%
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート	70%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか		保護者アンケート	70%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか		保護者アンケート	70%
		存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか		参加者アンケート	90%
	満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか		参加者アンケート	90%
			サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	参加者アンケート
サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	保護者アンケート	90%		

事業名	2. 仙台中途退学未然防止等事業
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの貧困の連鎖の解消・権利擁護</li> <li>・ 中学生対象の学習・生活支援事業のアフターフォロー</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居場所づくり、学習支援、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援</li> <li>・ 原則生活保護もしくは児童扶養手当全部支給の中学生</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 別紙事業目標</li> <li>■ サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>
備考	

● 仙台中途退学未然防止等事業 事業目標

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	3ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	120人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	12人
		サポート参加延人数	延べ何人がサポートに参加したか	記録表による集計	2600人
	教室運営 (質的側面)	途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2.5%
		参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	40人
	ボランティア	ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	1,300時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回
		体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計
	プログラム参加人数		何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	60人
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	276件
		他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	61件
アウトカム	学力・学歴	高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか ※学習生活サポート事業卒業生のみ	中退者数/登録者数(高校年代)	3%
		高校中退者の社会接続率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか ※当事業への参加を含む	社会資源へのつなぎ数/中退者数	100%

事業名	3. 宮城県子どもの学習・生活支援事業
事業目的	・ 子どもの貧困の連鎖の解消・権利擁護
事業内容	・ 学習支援(対面・オンライン)、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援 ・ 生活保護、就学援助、児童扶養手当支給等に該当する小学4年生～20歳程度
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標 ■ サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上
備考	

事業名:宮城県子どもの学習・生活支援事業

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	15ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	240人
		リファ一件数	何人の対象者が関係機関からのリファーにより参加したか	参加者リストへの記録	12人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	10人
	教室運営 (質的側面)	開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	720回
		つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等でつながりを維持できている家庭の割合はどの程度か	記録表による集計	100%
		延参加者数	延べ何人の登録者が参加したか	記録表による集計	3600人
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	25%
	ボランティア	途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2.5%
		参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	33人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	1,300時間
	体験プログラム	研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回
		プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム
	保護者支援	プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	90人
保護者の面談件数		保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	455件	
保護者との連携件数	他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	101件	
	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%
高校中退率		どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	
高校中退者の社会接続率		中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつながり数/中退者数	100%	
基礎学力		参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:10点 数学:10点	
アウトカム	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか		70%
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		70%
		健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか	
	社会への信頼	生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		70%
		他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		70%
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		70%
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか	参加者アンケート	70%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか	保護者アンケート	70%
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート	70%
		存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか	参加者アンケート	90%
満足度	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート	90%	
	サポートへの満足度	参加してよかったと感じているか	保護者アンケート	90%	
	サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	参加者アンケート 保護者アンケート	90%	

事業名	4. 岩沼市子どもの学習・生活支援事業
事業目的	子どもの貧困の連鎖の解消・権利擁護
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援</li> <li>生活保護、就学援助、児童扶養手当支給等に該当する小学4年生～20歳程度</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙事業目標</li> <li>サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	1ヶ所	
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	50人	
		リファ一件数	何人の対象者が関係機関からのリファーにより参加したか	参加者リストへの記録	5人	
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	2人	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	192回	
		つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等でつながりを維持できている家庭の割合はどの程度か	記録表による集計	100%	
		延参加者数	延べ何人の登録者が参加したか	記録表による集計	960人	
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	12人	
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	400時間	
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム	
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	25人	
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	115件	
		他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	26件	
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	
		高校中退者の社会接続率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつながり数/中退者数	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:10点 数学:10点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか		70%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	
		文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか	70%	
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		70%	
		生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		70%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		70%	
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		70%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか	参加者アンケート 保護者アンケート	70%	
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか	保護者アンケート	70%	
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート	70%	
	満足度	存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか	参加者アンケート	90%	
		活動への満足度		参加してよかったと感じているか	参加者アンケート	90%
					保護者アンケート	90%
サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	参加者アンケート 保護者アンケート	90%		

事業名	5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業(ハッチいわぬま)
事業目的	ひきこもり状態にある方の自立支援
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別相談、家族会、アウトリーチ、居場所づくり、体験の機会づくり等</li> <li>・ 対象:岩沼市に居住するひきこもり状態にある本人と家族</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者数:65人</li> <li>■ 相談件数:350件</li> <li>■ アウトリーチ件数:延50件</li> <li>■ 家族のつどい参加人数:延50人</li> <li>■ 居場所参加者数:延800人</li> <li>■ イベント参加者数:延200人</li> <li>■ 社会接続:延50人</li> </ul>
備考	相談員の専門性向上(アセスメント・提案力等)



事業名	6. 岩沼市子ども第三の居場所事業(いわぬまきち)
事業目的	貧困等により養育困難な状態にある子どもたちや家庭を社会ではぐくむ。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象:家庭や自身に課題を抱えた小学生等</li> <li>・ 居場所での学習・遊び・生活の支援、体験の機会づくり、家庭への相談支援</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者数:1日平均18名以上</li> <li>■ 体験プログラム:12回以上</li> <li>■ ボランティア:10名以上</li> </ul>
備考	個別支援計画に基づいた運営の徹底(計画・行動・振り返り)

事業名	7. 白石市子どもの学習・生活支援事業
事業目的	子どもの貧困の連鎖の解消・権利擁護
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援</li> <li>生活保護、就学援助、児童扶養手当支給等に該当する小学4年生～20歳程度</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙事業目標</li> <li>サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>
備考	

事業名: 白石市子どもの学習・生活支援事業

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	1ヶ所	
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	20人	
		リファ一件数	何人の対象者が関係機関からのリファーにより参加したか	参加者リストへの記録	2人	
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	4人	
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	96回	
		つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等で行なっている割合はどの程度か	記録表による集計	100%	
		延べ参加者数	延べ何人の登録者が参加したか	記録表による集計	480人	
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	6人	
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	200時間	
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム	
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	10人	
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	46件	
		他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	10件	
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	
		高校中退者の社会接続率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつながり数/中退者数	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:10点 数学:10点	
		自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか		70%
	努力意欲		参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		70%	
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		70%	
		生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		70%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		70%	
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		70%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか	参加者アンケート 保護者アンケート	70%	
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか	保護者アンケート	70%	
	保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート	70%	
		満足度	存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか	参加者アンケート	90%
	活動への満足度			参加してよかったと感じているか	参加者アンケート 保護者アンケート	90%
			サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか	参加者アンケート 保護者アンケート	90%

事業名	8. 白石市子ども第三の居場所事業(しろいしきち)
事業目的	貧困等により養育困難な状態にある子どもたちや家庭を社会ではぐくむ。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象:家庭や自身に課題を抱えた小学生等</li> <li>・ 居場所での学習・遊び・生活の支援、体験の機会づくり、家庭への相談支援</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者数:1日平均 15 名以上</li> <li>■ 体験プログラム:12 回以上</li> <li>■ ボランティア:5 名以上</li> </ul>
備考	個別支援計画に基づいた運営の徹底(計画・行動・振り返り)

事業名	9. 仙台市支援対象児童等見守り強化事業
事業目的	食品を活用して要保護児童等への訪問支援をすることで、行政ではつながらない、対応しきれない家庭の見守りを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:太白区、青葉区、泉区に居住する未就学児～高校生年代の子どものいる家庭</li> <li>定期的な食品提供をキッカケにした訪問支援による子どもの見守り、保護者の相談支援等</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標
備考	

#### 事業目標

事業名: 仙台市支援対象児童等見守り強化事業(太白区、青葉区・泉区)

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値
アウトプット	量的要素	利用者実数	当事業を利用した世帯数、児童数	記録表による集計	---
		延訪問支援数	当事業により訪問を行った延件数	記録表による集計	500件
アウトカム	自治体の視点	発見	養育上の課題を抱えていながら、周囲から気づかれていない家庭の発見効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---
		情報収集	関係機関が把握していない生活状況等の情報を把握する効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---
		安全確認	虐待や自殺企図等のリスクの高い世帯の見守り効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---
		つなぎ	様々な支援を必要としながらも、何らかの事情によってつながっていない家庭に対する支援制度・機関へのつなぎの効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---
		ヤングケアラー	ヤングケアラーに該当する子どもの発見や見守りの効果はどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---
	保護者の視点	経済的負担の軽減	家計のやりくりが楽になったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%
		精神的負担の軽減	子育ての悩みが軽くなったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%
		生活上の課題の改善	生活の問題が軽くなったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%
		必要な社会資源へのつなぎ	自分が必要とする支援制度や相談機関などにつながる事ができたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%
	満足度	支援員の対応	支援員はマナー・礼儀がきちんとしていたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%
支援員の対応		支援員は保護者の悩みを受容していたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	
継続希望		この事業を続ける場合継続して利用したいと思うか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	

事業名	10. 涌谷町支援対象児童等見守り強化事業(わく德利)
事業目的	食品を活用して要保護児童等への訪問支援をすることで、行政ではつなげられない、対応しきれない家庭の見守りを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:涌谷町に居住する未就学児～高校生年代の子どものいる家庭</li> <li>定期的な食品提供をキッカケにした訪問支援による子どもの見守り、保護者の相談支援等</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標
備考	

#### 事業目標

##### 事業名: 涌谷町支援対象児童等見守り強化事業

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値
アウトプット	量的要素	利用者実数	当事業を利用した世帯数、児童数	記録表による集計	15世帯
		経済的負担の軽減	家計のやりくりが楽になったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%
アウトカム	生活の支援	生活上の課題の改善	必要な情報を得ることができたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%
		食品の内容	食品は役立つ内容だったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%
	支援員の対応	支援員の対応	支援員はマナー・礼儀がきちんとしていたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%
		支援員の対応	支援員は保護者の悩みを受容していたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%

事業名	11. フードバンクプラアス
事業目的	既存事業の利用者に対して食品の提供を通して訪問等を行うことにより、つながりの再構築や利用者の生活状態の把握などを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品、家電等の寄付での受け入れ</li> <li>・ 原則当法人の既存事業の利用者に対する訪問による食品提供及び見守り等支援</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支援件数:120 件以上(仙台市内)</li> <li>■ 食品受入件数:90 件以上</li> </ul>
備考	

事業名	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
事業目的	不登校や中退などで居場所のない子どもたちとつながり、生存保障、発達保障、社会参加を実現する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:仙台市内に居住する小学校5年生～20歳程度(仙台市外も参加可能)</li> <li>3拠点(東口、泉中央、長町)での居場所の開設、訪問支援、就労支援等</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 別紙事業目標</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:4.0以上</li> </ul>
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値
アウトプット	拠点運営	参加者数	何人の対象者が登録したか	参加者リストへの記録	140人
		アウトリーチ件数	延べ何人に対してアウトリーチを行ったか(同行支援・イベント時送迎含む)	参加者リストへの記録	200人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	600日
		1日当たり利用者数	1日当たり何人が利用したか	記録表による集計	13人
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	30人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	1,000時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	18件
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	400件
	アウトカム	生存保障	安心の提供	自分はここにいってもいいという安心感を感じることができた	参加者アンケート (肯定回答割合)
サインのキャッチ			家庭や生活の困りごとをスタッフに相談することができた	70%	
心理的な回復			この場所での出会った仲間やスタッフのおかげで気持ちが楽になった	70%	
発達保障		興味関心の醸成	自分が関心を持てることを見つけれられた	70%	
		対人関係の自信	人との関わりに自信を持てるようになった	70%	
参加保障		知識の習得	新しい知識を身につけたり、できると思えることが増えた	70%	
		意見の反映	スタッフたちは、自分たちの意見をくみ取り、運営に反映してくれた	70%	
		オーナーシップの実感	自分たちで活動をつくっているという実感を持つことができた	70%	
満足度		イベントへの参加	自分が関心を持てるイベントに参加することができた	70%	
		対等な関係	スタッフは自分の意見や価値観を押しつけずに、対等に関わってくれた	70%	
		サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは信用することができた	70%	
		活動への満足度	この事業に参加してよかった	70%	

事業名	13. たがじょう子どもの心のケアハウス
事業目的	不登校で居場所のない子どもたちとつながり、生存保障、発達保障、社会参加を実現する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:多賀城市内に居住する不登校の小中学生</li> <li>多賀城市内 1 カ所のケアハウス運営、訪問支援、まなび支援教室への支援員派遣(4 中学校)</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 別紙事業目標</li> <li>■ 職員意識調査領域平均各項目:4.0 以上</li> </ul>
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値
アウトプット	拠点運営	参加者数	何人の対象者が登録したか	参加者リストへの記録	20人
		アウトリーチ件数	延べ何人に対してアウトリーチを行ったか	参加者リストへの記録	48人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	230日
		1日当たり利用者数	1日当たり何人が利用したか	記録表による集計	8人
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	10人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	400時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	18件
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	200件
	アウトカム	生存保障	安心の提供	自分はここにいってもいいという安心感を感じることができた	参加者アンケート (肯定回答割合)
サインのキャッチ			家庭や生活の困りごとをスタッフに相談することができた	70%	
心理的な回復			この場所で出会った仲間やスタッフのおかげで気持ちが楽になった	70%	
発達保障		興味関心の醸成	自分が関心を持つことを見つけれられた	70%	
		対人関係の自信	人との関わりに自信を持つようになった	70%	
参加保障		知識の習得	新しい知識を身につけたり、できると思えることが増えた	70%	
		意見の反映	スタッフたちは、自分たちの意見をくみ取り、運営に反映してくれた	70%	
		オーナーシップの実感	自分たちで活動をつくっているという実感を持つことができた	70%	
満足度		イベントへの参加	自分が関心を持つイベントに参加することができた	70%	
		対等な関係	スタッフは自分の意見や価値観を押しつけずに、対等に関わってくれた	70%	
		サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは信用することができた	70%	
		活動への満足度	この事業に参加してよかった	70%	



事業名	14. 多賀城こども食堂
事業目的	食事を通して生活に困窮する子育て家庭とつながり、ピアサポートや必要な支援へのつなぎを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理活動を含めた食事提供、保護者同士のコミュニケーションの場づくり(月2回、多賀城駅付近1ヶ所での開催)</li> <li>・ 対象:ひとり親家庭や生活保護家庭などの生活困窮世帯の子ども、保護者</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開催回数 24 回以上</li> <li>■ 1 回あたり利用者数:10 人以上</li> <li>■ ボランティア参加時間:100 時間以上</li> </ul>
備考	既存事業(ケアハウス等)との連携を意識した集客・運営

事業名	15. 仙台市ヤングケアラーピアサポート・オンラインサロン事業
事業目的	ヤングケアラーの相談支援体制の構築、気軽に相談できる場をつくる。
事業内容	支援連絡会の運営、ピアサポーターの発掘育成、オンラインサロンの開催(Twitter 相談窓口)
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支援連絡会の運営: 2 回</li> <li>■ ピアサポーターの発掘・育成: 12 人</li> <li>■ 学校等へのアウトリーチ: 36 回</li> <li>■ オンライン(対面)サロン: 12 回(延参加者数 100 人)</li> <li>■ LINE・X 相談: 40 件(テーマ) ※8 か月</li> </ul>
備考	

事業名	16. 宮城県ヤングケアラー支援事業
事業目的	ヤングケアラーの相談支援体制の構築、気軽に相談できる場をつくる。
事業内容	支援連絡会の運営、ピアサポーターの発掘育成、オンラインサロンの開催(Twitter 相談窓口)
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支援連絡会の運営:2 回</li> <li>■ ピアサポーターの発掘・育成:12 人</li> <li>■ 学校等へのアウトリーチ:36 回</li> <li>■ オンライン(対面)サロン:12 回(延参加者数 100 人)</li> <li>■ LINE・X 相談:40 件(テーマ) ※8 か月</li> <li>■ ヒアリング自治体件数:34 市町村</li> <li>■ 市町村への研修講師派遣等:10 回</li> <li>■ 教職員等を対象とした研修:2 回</li> </ul>
備考	

事業名	17. 県南圏域子ども若者総合相談センター
事業目的	ひきこもり、ニート、不登校など社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者に関するワンストップの相談サービスを行い、様々な制度や年齢による切れ目のない、多角的、包括的な支援の充実を図る
事業内容	子ども・若者・保護者・関係機関を対象とした相談対応、子ども若者支援地域協議会等を活用した関係機関へのつなぎ
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 相談延べ件数:400 件以上(石巻圏域初年度の月平均相談件数 74 件×3/5 日×9 ヶ月)</li> <li>■ 相談終了に占める「中断」割合:25%以下(石巻圏域 R4 年度実績参照)</li> </ul>
備考	

事業名	18. アスイク保育園宮城野通駅前				
事業目的	<table border="1"> <tr> <td>保育理念</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>保育方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受容し、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>	保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受容し、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>				
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受容し、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>				
事業内容	企業主導型保育園(定員 19 名)				
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:19 名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>				
備考					

事業名	19. アスイク保育園薬師堂前					
事業目的	<table border="1"> <tr> <td>保育理念</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>保育方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受容し、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>	保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受容し、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>	
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>					
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受容し、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>					
事業内容	仙台市小規模認可保育事業(定員 12 名)					
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:14 名</li> <li>■ 途中退園:0 名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>					
備考						

事業名	20. アスイク保育園中田町	
事業目的	保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>
	保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受容し、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>
事業内容	仙台市認可保育所	
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:48 名</li> <li>■ 途中退園:0 名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>	
備考	※社会福祉法人明日育福社会にて運営	

事業名	21. 仙台市荒井児童館
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会ではぐくむ</li> <li>・ 地域で見守る</li> <li>・ 子どもの意見を大切にする</li> </ul>
事業内容	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)、児童健全育成事業、子育て家庭支援事業、地域交流推進事業
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ モニタリング結果:A 以上</li> <li>■ 地域連携によるプログラム:24 件以上</li> <li>■ ボランティア延べ参加時間:500 時間以上</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童館のバリューの浸透</li> <li>・ 子どもに対する「子どもの権利」の理解促進</li> <li>・ 中高生対象の居場所の確立</li> </ul>



事業名	22. その他の事業(投資事業)
事業目的	・ 特定非営利活動に従事する職員の処遇改善の原資を獲得する
事業内容	不動産に対する投資事業
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 税引前キャッシュフロー:120 万円
備考	投資物件についてはパートナーと適時選定を行う